

1. 対象部材

樹脂引き違いサッシ用戸車

略称：CjK 戸車

2. 標準(共通)化の部位

標準(共通)化の部位を図1に示す。

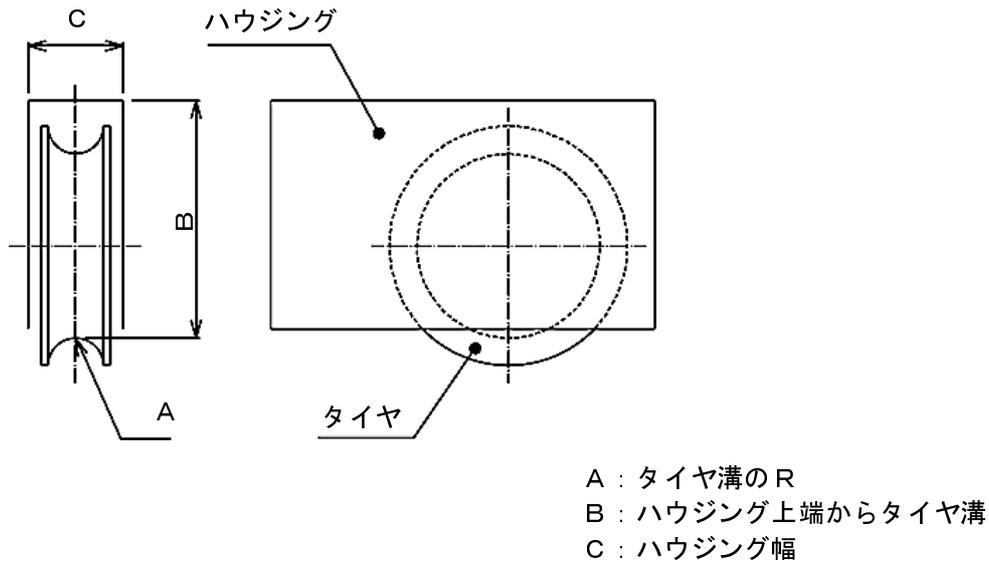


図1－標準(共通)化の部位

3. 寸法・形状

図1の各部位の寸法を表1に示す。

表1－各部位の寸法

窓用 単位：mm

項目	寸法			
	①	②	③	④
A : タイヤ溝のR	R 2. 0	R 2. 3	R 3. 5	R 5. 0
B : ハウジング上端からタイヤ溝	2 9. 2	3 9. 8	2 8. 5	3 1. 0
C : ハウジング幅	1 5. 2	1 4. 6	1 2. 2	1 4. 6

テラス用 単位：mm

項目	寸法		
	⑤	⑥	⑦
A : タイヤ溝のR	R 2. 0	R 2. 3	R 3. 5
B : ハウジング上端からタイヤ溝	4 4. 5	4 5. 5	4 3. 5
C : ハウジング幅	1 3. 8	1 7. 8	1 3. 2

4. 表示方法

部材・印刷物・電子媒体などに、長期使用対応部材であることを表示する。
または、“CjK”マークを表示する。

5. 特記事項

5.1 対象の範囲

- ・戸車は調整戸車を対象とし、表1のB寸法は調整範囲の最小値とする。
- ・戸車のタイヤ形状は、溝戸車とする。(JIS A 5545:2011に規定する)
- ・戸車のタイヤ数は、1個のものを対象とする。

5.2 タイヤ溝Rとサッシレールの先端Rの関係

タイヤ溝R(A寸法)は、サッシレールの先端Rとの組合せがあるので、その関係を記載する。(図2および表2)

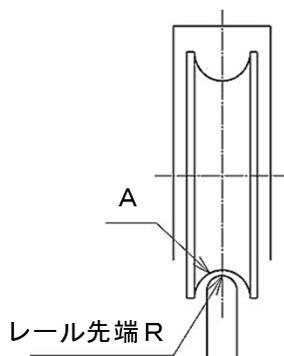


図2 - タイヤ溝Rとレール先端R

表2 - タイヤ溝Rとレール先端Rの関係

単位：mm

項目	①	②	③	④
タイヤ溝R(A寸法)	R2.0	R2.3	R3.5	R5.0
レール先端R	R1.7	R2.0	R3.0	R4.0

6. 解説

6.1 戸車にかかる荷重と戸車高さについて

JIS A 5545:2011”サッシ用金物”にて”戸車の走行性能試験”が記されている。試験方法は、戸車を取り付けた戸を往復運動させ、戸車の走行性能を確認するものであり、戸車にかかる荷重や往復回数、戸車高さ(外径寸法)の関係についてが規定されている。試験時における確認事項として、使用上支障のある横振れ及び縦振れがないこととなっており、戸車選定の際は専門業者による確認が必要である。

6.2 戸車の取り付け方法について

サッシの戸車取り付け方法は様々で、固定方法によっては容易に交換できない場合がある。また、戸車選定の際はハウジング幅寸法特定の為、取付け側(サッシ)の部材寸法の測定が必要であり、戸車選定の際は専門業者による確認が必要である。

6.3 テラス用とは

住宅の居室からテラス、バルコニーなどに入出りできるようにした窓をテラス用、それ以外を窓用と定義した。

6.4 調整戸車とは

高さをドライバー等で調整し建付け調整できる戸車をいう。

注記)一般の方が当該部品交換を行うことは危険が大きく、実際に苦情として発生していることより、PL上の免責も配慮し解説6.1、6.2を記載した。

7. 共通事項

7.1 寸法について

寸法は基準値を示し、公差・許容差を表すものではない。

7.2 交換について

交換については、専門知識を有する者が行うことを推奨する。

注記)専門知識を有する者とは：専門的知識、技術、経験を有する者である。